

令和4年 10月から

# 一般ごみの有料化を検討しています

## なぜ一般ごみを有料化する必要があるの？～ 社会背景と一般廃棄物最終処分場の現状 ～

人間が生活するうえで必ず排出されるものが「ごみ」です。社会経済の発展に伴い、日常生活や事業活動から排出される廃棄物は、多様化するとともに量も増加し、ごみ処理は、私たちにとって最も身近な環境問題であり社会問題になっているといえます。

その問題解決のため国の基本方針として、一般廃棄物の有料化を推進することが市町村の役割として位置付けられており、これからの時代は、廃棄物の発生抑制、循環的利用、適正処理によって天然資源の消費を抑制し、環境負荷を低減する「循環型社会」の形成が強く求められています。

剣淵町内のごみを処理している一般廃棄物最終処分場（埋立地）は、満杯寸前の状態であることから、ごみを減らさなければならない状況となっています。

そこで、**現在埋立処理をしている一般ごみのうち、燃やせるごみについては、令和4年10月から愛別町外3町塵芥処理組合に焼却処理を委託する**ことで、埋立処理の量を減らし、本町の最終処分場の延命化を図るよう検討しています。

しかし、愛別町での焼却処理に必要となる費用として41,000円/t、年間2,300万円程度が見込まれています。

また、ごみの組成調査を行った結果、埋立てられているごみのうち約20%は正しく分別を行えば資源ごみになるもので、本来埋め立てられる必要がないごみでありました。

このことから、正しい分別を徹底することで、焼却処理の委託費用を抑えることにもつながります。

### 【一般廃棄物最終処分場の残余容量】

令和3年10月末に測量を行ったところ、今後埋立可能な容量は3,505<sup>m</sup>しかないと判明し、このまま埋立てを続けると5年以内に本町の最終処分場が満杯になります。

埋立容量	埋立済容量	埋立残余容量	埋立可能期間予測
23,000 <sup>m</sup>	19,495 <sup>m</sup>	3,505 <sup>m</sup>	4年4か月

## 一般ごみを有料化するとどうなるの？～ 有料化の目的と効果 ～

### ◆一般ごみ有料化の目的

ごみの有料化は、家庭や事業所から排出される一般廃棄物の処理費用の一部を料金として負担していただくもので、ごみの減量化やリサイクルの一層の促進、排出量に応じた費用負担の公平化、さらにはごみ減量への行動実践や分別徹底の意識向上につながることを期待されます。

### ◆ごみ有料化の導入状況

上川北部の9市町村の導入状況（令和3年10月現在）は次のとおりで、有料化はほとんどの市町村で実施されています。

区分	実施市町村数	備考
一般ごみ (燃やせるごみ・燃やせないごみ)	7市町村	剣淵町・和寒町が未実施
粗大ごみ	8市町村	剣淵町は令和3年4月から実施

※上川北部9市町村（名寄市、士別市、中川町、音威子府村、美深町、下川町、剣淵町、和寒町、幌加内町）



## ◆ごみ有料化導入の効果

ごみの有料化には、様々な効果が見込まれます。

### (1) ごみの減量化・リサイクルの促進

- ①ごみを有料化することで、各人が費用負担を軽減しようとする動機付けにつながり、これによりごみの排出量の抑制が期待されます。
- ②ごみの排出量の抑制がなければ、最終処分場（埋立地）の延命化が図れず、新たな整備費用が生じます。
  - ・新しい最終処分場の建設に約7～8億円（令和2年度設計会社試算）
  - ・新しい焼却施設の建設に約5～8億円（平成30年度剣淵町ごみ処理基本計画策定時試算）
- ③一方、資源ごみを無料とすることで、正しい分別につながり、資源回収量の増加が期待されます。

町の負担費用

※上記費用にはランニングコストが含まれていません。

### (2) 公平性の確保

ごみ処理費用の全てを税金で賄う場合、排出量の多い方と少ない方とでは費用負担に明確な差が付きません。しかし、排出量に応じて料金を徴収することになれば、分別の徹底が意識され、ごみの減量、リサイクルの促進に繋がり、正しく分別をしてごみ出しをする方は負担が少なくなり、費用負担の公平化が確保されます。

## 有料化で私たちのくらしの変化は？～ 分別方法や料金負担の方法 ～

## ◆ごみ有料化の内容

### (1) 対象となるごみの区分

循環型社会の形成やごみ処理費用の負担といった観点から、ごみの総量を減らすことが重要です。有料化は本来であればごみ全体を対象とすることが基本ですが、ごみの減量、分別の徹底、リサイクルの一層の促進について意識を高めていただくことがより重要であるため、資源ごみについては無料としています。

有料 → 「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「生ごみ」  
「粗大ごみ」

無料 → 「資源ごみ」

(びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、白色トレイ、発泡スチロール、紙製容器包装、飲料用紙パック、鉄類、小型家電、新聞紙、雑誌、段ボール、蛍光灯、電球、廃食油、電池、古着)

資源ごみを正しく分別して有料ごみを減らせればエコにもつながるね！  
分別頑張らなくちゃ！



### (2) 料金額と負担方法

料金は、1リットルあたり3円で検討しています。

料金の負担方法は、分かりやすく、減量化が実感しやすい「指定ごみ袋制」を考えています。袋の大きさは、燃えるごみ、燃えないごみともに10リットル、20リットル、45リットルの3種類の予定です。

袋の大きさ	10リットル	20リットル	45リットル
料金額	30円/枚	60円/枚	135円/枚

◎ごみ有料化の詳しい内容が決まりましたら改めて広報等でお知らせいたします。